

2019年10月4日

当社が受託したガスヒートポンプエアコンの定期点検業務における不適正な作業について
(お詫び)

ケイラインエンジニアリング株式会社

ケイラインエンジニアリング株式会社(社長：渡部隆史)の茨木事業所において、大阪ガス株式会社殿(以下、「委託元」)から受託しているガスヒートポンプエアコンの定期点検業務に関し、本来交換すべき燃料ホースを交換していないなど、一部のお客さまに対して業務を適正に実施できていなかったことが判明いたしました。

お客さまや関係者の方々に大変なご迷惑およびご心配をおかけすることになりましたことを深くお詫び申し上げます。

1. 事案の経緯と内容

この度、委託元が当社を含む全メンテナンス会社に対して実施した後回り確認調査の結果、当社が過去に実施した定期点検業務において本来交換すべき一部の燃料ホース及び冷却水等が交換されていないことが判明しました。

2. 原因

当社において、委託元から受領した作業指示書に基づいた作業履行を確認する仕組みが十分に機能していませんでした。また、一部の当社作業員が、一部の燃料ホース等に関して、「交換をしなくても性能上は問題が無い」と判断し、交換していなかったことが、委託元によるヒアリング調査及び当社の社内調査で判明しました。

3. 今後の対応

(1) 対象となるお客さまへの対応について

委託元からのご指導やご支援を受けながら、お客さまへ本事案および今後の対応について説明を行うとともに、未交換部品の交換などを行います。

(2) 再発防止策について

委託元による確認や調査、教育・指導に真摯に対応致します。

社内のチェック体制として、工事終了報告書に記載の作業内容の記録化とその作業に必要な資材の使用状況のダブルチェックの実施、内部監査体制の見直し及び経営層による作業現場の安全パトロールの強化を行います。

全役職員を対象としたコンプライアンス研修を実施し、個々のコンプライアンス意識の向上を図ります。

当社はこの度の事案を厳粛に受け止め、コンプライアンスの徹底を図り、再発防止に取り組んでまいります。お客様や関係者の方々にご迷惑およびご心配をおかけすることになりましたことを重ねて深くお詫び申し上げます。

以上

本件に関するお問合せ先

ケイラインエンジニアリング株式会社 総務部 03-5251-4319